

のうきよう ちがしべつ

'88.

4

No.160



● 発行 / 中標津町農業協同組合

昭和六十三年度の畜産物価格、および関連対策が三月二十五日決定した。加工原料乳保証価格を、現行(キロ八十二円七十五銭)より三・五%引き下げ、七十九円八十三銭に、同限度数量は逆に現行二百十万吨に十五万吨上積みし、二百二十五万吨、保証価格は三年連続の引き下げだが、激変緩和で下げ幅を圧縮し決定した。バターや脱粉など加工向け原料乳の農家手取り価格である保証価格は、前年通りの算定方式で行われ、飼料費の値下り、副産物(仔牛)価格の上昇などで、八%程度(キロ七十六円十五銭)まで落ち込むことから、前年に引き続き「激変緩和」措置が図られた。政府、与党の調整では自民党側が八十円台を要望したのに対し、政府側がこれに抵抗。最終的には仔牛価格の織り込みを、通常直近三ヶ月のところを同二年にして二円六十一銭さらに一頭当り搾乳量を農水省集計では六千六百九十八キロのところを六千六百五キロに低く見積もること

で、一円七銭をそれぞれ圧縮合わせて三円六十八銭の激変

加工原料乳限度数量15万ト、増の225万ト

保証価格79円83銭

激変緩和で、下げ幅圧縮

昭和六十三年年度、畜産物関連対策の内容。

- 一、生産、経営対策
- (一) 大家畜経営体質強化資金の融通助成(約三百二十一億円)
 - (二) 養豚経営合理化資金の融通助成(約十九億円)
 - (三) 畜産経営体質改善指導特別対策(約六億円)
- 二、流通消費対策
- (一) 国産牛肉小売価格安定化対策(約七十五億円)
 - (二) 食肉流通消費等改善対策(約十五億円)
 - (三) 食肉等流通施設整備事業(約十三億円)
 - (四) 牛乳乳製品消費拡大対策(約十六億円)
 - (五) 肉用牛等低コスト生産推進特別対策(約二十七億円)
 - (六) 肉用牛生産拡大対策(約十五億円)
 - (七) 乳肉複合経営等推進対策(約二十三億円)
 - (八) 高品質原料乳生産供給対策(約九億円)
 - (九) 豚肉高度生産技術普及促進対策(約二億円)

緩和が図られ、七十九円八十三銭で決定しております。

◎牛乳乳製品関係

区 分	63年度	(62年度)	対前年度増減	
	円	円	円	
指定乳製品の安定指標価格				
バ タ ー (1kg当たり)	1,080	(1,100)	△ 20	(△ 1.8%)
脱 脂 粉 乳 (25.0kg当たり)	13,030	(13,180)	△ 150	(△ 1.1%)
全脂加糖れん乳 (24.5kg当たり)	8,230	(8,360)	△ 130	(△ 1.6%)
脱脂加糖れん乳 (25.5kg当たり)	7,380	(7,500)	△ 120	(△ 1.6%)
加工原料乳の基準取引価格(1kg当たり)	66.51	(67.67)	△1.16	(△ 1.7%)
加工原料乳の保証価格 (1kg当たり)	79.83	(82.75)	△2.92	(△ 3.5%)
限 度 数 量	万トン	万トン	万トン	
	225	(210)	15	(7.1%)

低コスト生産のための技術対策……①

乳飼比低減のための粗飼料給与

① 「乳飼比を下げる」とは!?

低コストの乳生産を実現するには、あらゆる面での改善方が考えられますが、当地域のように大規模草地酪農地帯では、牧草を主体とする良質な粗飼料を今迄以上に有効に利用していくことが基本であると言えます。良質粗飼料を今迄以上に飽食させることにより、購入飼料の給与割合を引き上げることが可能となります。

乳飼比を下げるということは、単純に配合飼料の給与量を減らすということではなく、粗飼料をいかにうまく牛に食いつ込ませるかということであり、もちろん、今迄以上に粗飼料を給与できたことで、栄

養面からみても、配合飼料の要求量が減ることも当然です。逆に言えば、配合飼料の給与量を減らすならば、それによる栄養不足分を粗飼料で補えるように、給与方法等を改善し、今迄以上に粗飼料を飽食させることができなければ、牛の健康を維持することさえできなくなるでしょう。

②粗飼料の給与方法とその採食量

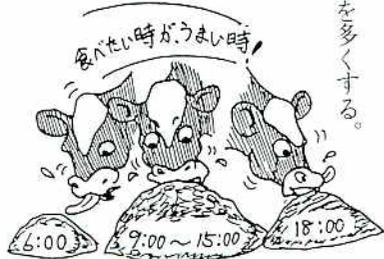
「個々の経営によって、牛の飼いは違う」というのもっともであり、その農家の労働力・施設等によって、可能となる給与方法は限られてくるでしょう。次の表は中標津町農協管内の事例を示してあります。

粗飼料の給与方法と飽食量、および購入飼料給与量の実態 (1頭当たり)

農 家 (労働人数)		A (2)	B (2)	C (2)	
管 理 形 態		スタンション	スタンション	フリーストール	
グ ラ ス ・ サ イ レ ー ジ	給 与 方 法	日中自由採食	A + 朝・夕舎内給与	昼夜自由採食	
	給 与 (飽食) 量	28 kg	50	40	
	成 分	D M %	30	25	25
		TDN (DM中%)	57	63	57
C P (DM中%)		10	13	10	
乳量25kg/日に 対する要求量	配 合	8kg (C P 18)	5kg (C P 18)	8kg (C P 18)	
	パルプ	4 kg	2 kg	3 kg	

※乾草の給与については各農家とも2kg/日・頭を給与・飽食させている。(給与方法については若干異なる。)

この表をみてわかるように自給飼料の給与方法の違いで給与量も変わり、更には、配合飼料の必要量にも差が生じます。個々の経営によって直ちに改善できることと、そうでないこととがあるのは当然です。



すが、これらの事例にみられるように、現状でも努力次第で可能となる改善方策というのも意外に多いものです。今一度、基本技術を忠実に実行してみることが大切です。

③粗飼料を食いつ込ませるため



農協の就業時間が五月一日から十月三十一日まで次のようになりまますのでよろしくお願ひ致します。

事務所 平日は午前八時三〇分から午後五時まで。土曜日は午前八時三〇分から正午まで。

貯金・組勤窓口の営業時間
 〈貯金〉平日は午前九時から午後三時まで。土曜日は午前九時から正午まで。毎月第二、第三土曜日は休業いたします。

〈組勤〉平日は午前八時三〇分から午後五時まで。土曜日は午前八時三〇分から正午まで。毎月第二・第三土曜日は休業いたします。

ATM(現金自動受入・支払機) 平日は午前八時四十分

から午後六時まで。土曜日は午前九時から午後二時まで。

ストア 午前九時三〇分開店、午後六時三〇分閉店。

農協スタンド 午前八時三〇分から午後六時三〇分まで営業。

桜ヶ丘給油所 午前八時から午後七時三〇分まで通常通り営業(祭日も営業)

資材店舗 平日は午前八時三〇分から午後五時まで。

四月十六日(土)から八月末日までの土曜日は平日どおり、午前八時三〇分から午後五時まで営業いたします。

人工授精の受付時間
 平日は午後一時まで。土曜日・日曜日・祝祭日は午前十時まで。

気候概況

この期間、天気は周期的に変わり、気温の変化がやや大きいでしょう。五月は時々低温の時期が現われ、おそ霜のおそれがある見込みです。

周期的に変わってでしょう。気温の変化がやや大きい見込みです。
 平均気温、降水量とも平年並でしょう。
 五月 低気圧や前線の影響を受けやすく、天気は変わ

北海道地方長期予報
 3カ月予報

財団法人 日本気候協会北海道本部



なお、日本海側の多雪

地では根雪(長期積雪)の終日が平年より三日から十日位遅れるでしょう。

りやすいでしょう。平年より気温の低い日が多く、下旬にはおそ霜のおそれがある見込みです。平均気温はやや低く、降水量は平年並でしょう。

(1) 月別予報
 四月 低気圧と高気圧が交互に通る、天気は

六月 オホーツク海高気圧の

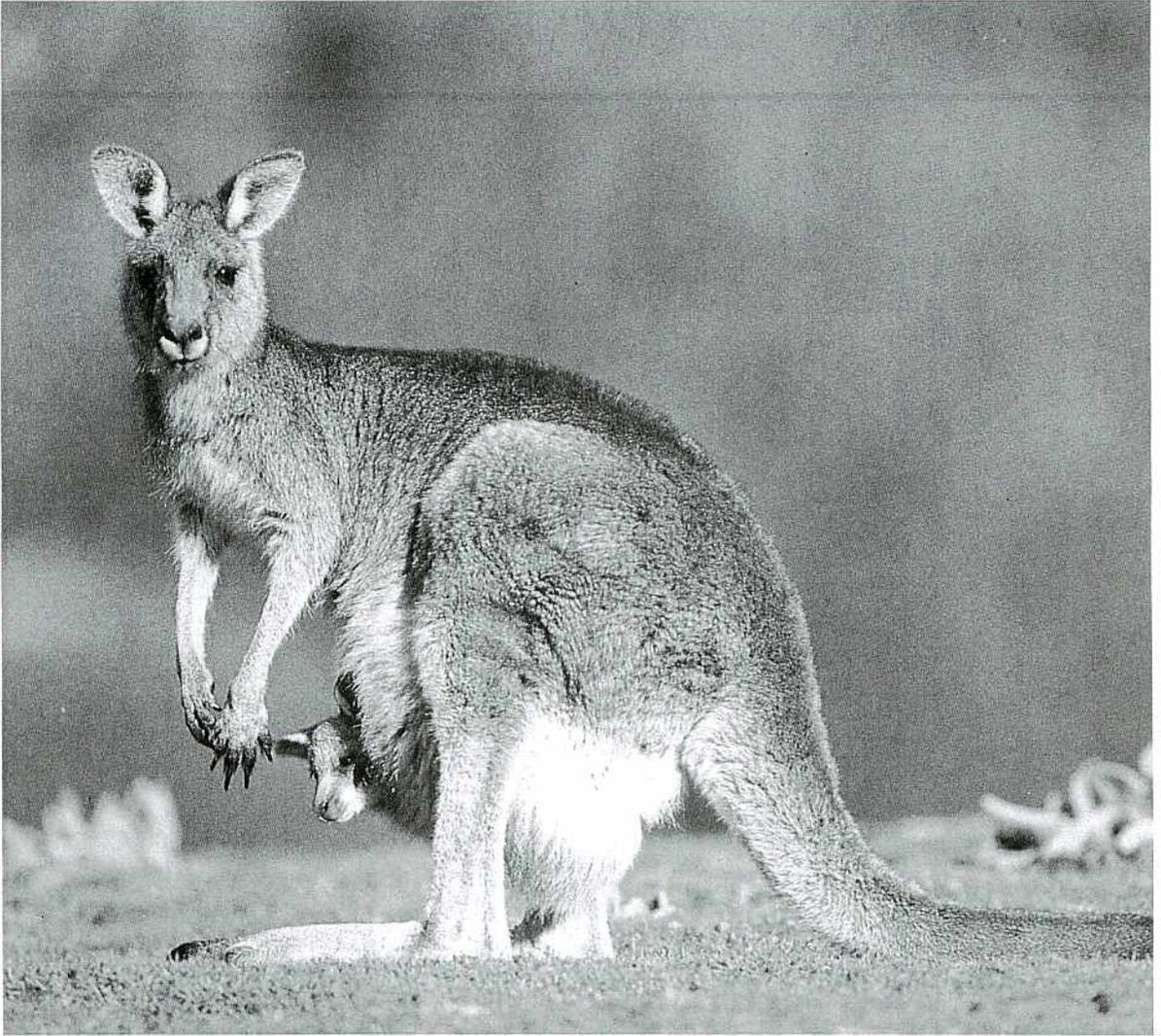
(2) 要素別予報

要素 \ 期間	4 月	5 月	6 月
気 温	平 年 並	やや低い	平 年 並
降 水 量	平 年 並	平 年 並	平 年 並

影響を受ける日もありますが長続きせず、天気は周期的に変わってでしょう。平均気温、降水量とも平年並でしょう。

ゆとりと安心のホームライフ

建物更生共済

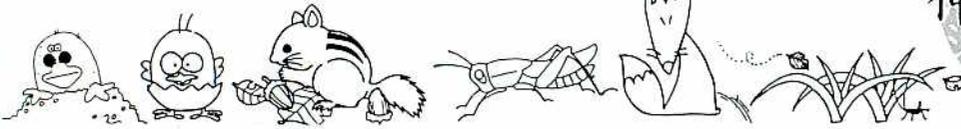


改訂され
益々充実

- 一、家財主契約の新設
 - 二、自然災害による小損害の保障範囲の拡大
 - 三、火災等の範囲の拡大
 - 四、災害共済金の額の変更
 - 五、共済契約が消滅することとなる損害割合の変更
 - 六、損害防止軽減費用の枠外担保
 - 七、満期共済金受取人の変更
 - 八、修理費給付特約の改善
 - 九、据置割戻金の一部支払制度の新設
- 等、改訂され益々充実した農協の共済、幸せな家庭をいつまでも守るために……”詳しくは、共済係におたずね下さい。

なかま

仲間・はなし



ふと我にかえつて

協和 麻郷地喜佐子

新聞とかテレビのニュースなどで毎日のように、○○○法とか、結構カッコイイ名前

を付けて、悪どい手口で巧みに人をだましたり恐喝とか、政治家でも横領とか聞かない日はない位です。何もかも信じられなくて恐ろしくなってしまう。

正直者は馬鹿を見る。昔のこんな言葉が真実のような、そんな錯覚に落ち入り、人事とは思えず自分の身に振りかからぬ内に、どうにかせねばと焦る気持ちにかられることもある……。

もう二年も前の事ですが、風邪の姪を連れて町内の病院に行った時の事です。午後でしたので患者もまばらでした。二人の子供を連れ、若い奥さんらしき人もいました。丁度お昼休みの時で、待ち時間

が長かったのでしょうか、二人の子供は飽きてしまったらしく、待合室の長イスのまわりを腹ばいになり、魚が泳ぐように何度も何度も回り、遊ぶと言ふより、いたずらにか見えませんでした。

その時母親らしき人が「○ちゃん、およしなさい。」そこまでは、とてもいい言葉で、私もまわりの人もホッとしましたが、「このイスの下はバイ菌だらけなのよ：きたないのよ……。」

もう腹を立てる気力も無くただ、無言でその母親らしき人の顔をジッと見た見がありました。

後になってからも「あの人は、人の迷惑を考えた事があるのだろうか？。自分の伝えたい事を世間話にと考えて……判らせようとする人もいます……そんな時に相手の気持ちを見抜けるものです。

取り留めのない話になってしまい、また私事です、車を運転して冬道、雪の中に車

を埋めてしまう事もしばしばです。通りがかりの見知らぬ人が手伝って下さり、時間に追われている時など、本当にありがたくて、何度も何度も頭を下げて感謝の気持ちを伝えようとします。

時が経って、その場所を通りかかると決って思い出し、その時の人の顔は忘れても、スラーツとしていて、とてもハンサムで一語にいた女の人もとても美人だった……。そんな楽しい思い出が、いつまでも頭のどこかに残っているものです。

先日、農協ストアーに買い物に行こうと車から降り、きどって歩いているもので、滑ってつまずいてしまいました。後から来た方が「大丈夫ですか、本当に大丈夫ですか。」と声をかけて下さいました。サングラスがとても似合う素敵な女の人でした。

私だったら、素知らぬ振りをして、心の中で笑っていたのではないだろうか、日頃

の自分を見たような気がして、とても恥かしく、良い事を教えられたような気がして、ほのぼのとした気持ちで帰路につきました。

実習生紹介 牛にも慣れ 人工さん のお手伝い

西武佐の奥村協牧場で、酪農実習をしている佐久間久恵さんを紹介いたします。

佐久間さんは、大阪の高校を卒業して、大手の電気部品関係製造の会社へ入社していましたが、都会の人込みの中での生活が性格的に向かず、自然の中で動物とふれあい、自分に充実した生活を送りたく、北海道に来たそうです。北海道に着いた時の第一印象は、ずいぶん田舎で広すぎ、回りに人家もなく、さびしい所だなど思ったそうです。

みんな、

仲間・はなし



いながらにして、遠くの人と話ができる。文を認めるという風情は遠のいてしまいました。電話は確実で、また簡単なのも事実です。今は、学生もアパートに電話をつける時代、テレクラなる商売も出現したり、回線を使って短

時間て文書を送る事のできる電話ファックスも普及してきました。現代社会では、電話なしでは、もう生活していけないでしょう。

しかし、こうした便利な電話だからこそ起こって来る深刻な問題があります。だれでも、よくする間違い電話、自分でも番号を見間違えたりしてかける事があり、先方の人には、大変申し訳ないと思うのですが、逆に深夜にでもかかって来たものなら「ハイ、違います」と、事もなげに答えながら腹の中は、煮え返るようです。(まあ、女の子は



本当にきれいな空気を久慈さん

ゆるせませんが。また、近頃増えつつあるのは、イタズラ電話、なにがおもしろいのか、無言の電話やワイセツな言葉をはく人間がいます。先日もある人にイタズラ電話がかかって来て困っているとの電話をもらいました。お宅におじやまして待つていたところ、二回程かかってきました。N T Tに相談したところ「いまこのような苦情が非常に多いのですが、とにかくすぐ切り、相手にしないようにして下さい。」との事でした。

え、イタズラ電話や、イヤガラセの電話をかける人の神経を疑わざるを得ません。よほど暇を持って余しているのか、とにかく馬鹿なマネはやめてほしいものです。電話は、相手が見えないから勝手な事を言ってもなんとも思わないのでしようが、せつかく取った電話がそのようなものだったら、本当に閉口します。

人間関係が複雑になり、生活環境が悪化して来たとは言

このような電話がしばしば続くと、精神的な負担はかなりの大きいものです。相手を労わるコミュニケーションとしての電話を、もっと大切にしましょう。

それに加え、ちょうどその頃は、デントコーンの刈取時期で、コーンの端刈の仕事があり、自分の背丈より高いコーンを鎌で刈るのが大変で、手に肉刺はできるし腰はいたいし、六ヶ月の実習期間を希望して来たが、一ヶ月で帰ろうかと思ったそうです。現在では奥村さん家族にも、日常の

仕事にもなれ、牛にも愛着を感じて来たと言っておりました。実習期間は、三月末日まででしたが、期間を延長し、できれば北海道の春、夏を体験し、同じ実習生として働いている人たちが、地域の人々と、交流を深めて行きたいとの事です。



私の趣味 ⑧
南武佐 土井上 信一さん
暇を見ては「野生動物を追う」

野生動物の写真
を撮らせたらプロ
顔負けの土井上さ
んは、二科展でも
度々入選し、暇を
見ては動物を追っ

愛車の窓から動物を狙う

かけて、カメラに務めていま
す。

御好意により「のうきょう
なかしべつ」八月号と十月号
の三回に亘って、「しまりす」
「えぞしか」「きたきつね」を
アニメルフォットと題して、
紹介させていただきました。

野生動物のやさしい、自然
の中で安心してきつた姿をみ
ごとにチャンスをつかまえて
撮っています。

農協の談話室にも六十一年
の農協だより新年号を飾った
写真がかけてあります。二科
展賞受賞「飛躍」と題するこ
の写真、流氷に立まっていた
オジロワシが飛び立った瞬間
をとらえたすばらしいもので
す。土井上さんの撮るこれら
野生動物の写真は、事前に設
定するのはむずかしいと思わ
れますが、それぞれがとても
生き生きとしており、本当に
チャンスをつかまえるのがう
まいんだと感心します。

——写真を始めた切っ掛けは
「共進会の入賞牛を撮るた
めにカメラを買ったんだけど、
カメラ屋にクラブに入るよう

に奨められ、その内、白鳥と
か鹿を取り始めて……」

——我々が撮ろうとしてもな
かなか写真におさめられない
のにすこいですネ

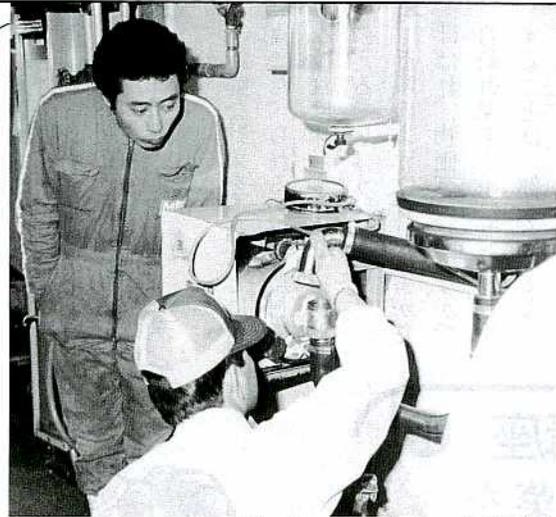
「直感というのかな、車で
走っていても他の人にはわか
らない、遠くの動物の動きを
とらえてすぐにカメラを持つ
そういうのは、風景等を撮る
人とは違うかもしれないネ。
それと動物を撮る場合、生態
を知る必要もある。どのよう
なところに目指す動物が現わ

れるか次にどのような動きを
するか予測をして撮る。」
また以前アニメルフォットで
載せた「しまりす」の様に牛
舎のすぐそばに出て来ていた
のでカメラをセットしておい
て、時折撮っていたらいい写
真が撮れたのだそうです。

愛車の三菱パジェロには、
カメラ、三脚等器材をいつも
つんでいて、動物の動きに目
を光らせる土井上さん、また
良い写真が撮れましたらぜひ
見せて下さい。



牛舎のすぐそばにカワイイ姿を見せるシマリス



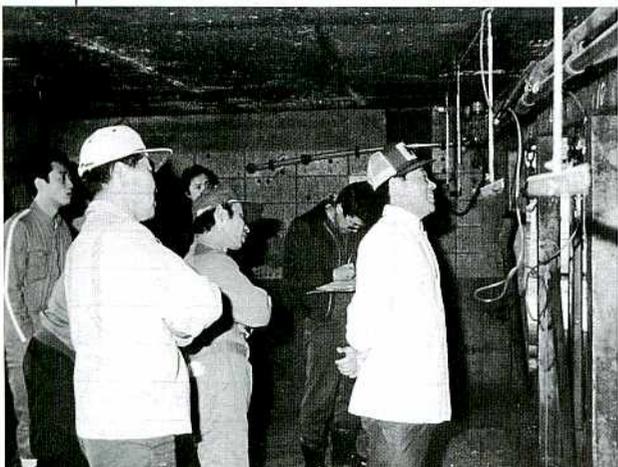
こういう所の汚れを注意する……と松原さん

ミルクカー点検整備講習会から

ミルクカー点検現地講習会が、北海道畜産機器サーピスの松原光則氏を招き実施されている。
バルセーターやミルククロー等、器具点検から、洗浄方法、真空圧等やラインの設置上の問題点を厳しくチェックしている。歯切れのいい受け答え、鋭い指摘に立ち会った組合員の皆さんはニガ笑い。

不適正な真空圧によって、牛が受ける負担の大きさや、ミルクラインの傾斜不足によるラインへの不必要な空気流入が、乳成分の損失を招く事を指摘されると「なるほど」と皆一様にうなずいていた。
乳成分の向上と乳質改善が叫ばれるいま、今回指摘された事項をすなおに受けとめ、一日も早く改善しましょう。
この点検講習会、三月二十

八日から始まり、四月二十
六日迄の予定です。次はあ
なたの番ですよ。



皆注目！ さてどうかな？

フォト レポート



バルセーターの働きはどうかな？

農協てん菜育苗プラントが3月15日から2台で、1日500冊をめぐりに育苗ポット作りを開始しました。

今年のとん菜作付面積は、198ヘクタールで、10,890冊の育苗ポットが4月2日迄に作られました。

てん菜育苗プラント
フル稼働!



野菜には、健康保持に欠くことのできないビタミン類や無機質が多く含まれており、生理的にも消化作用を助けるなど重要な役目を果たしてきてます。

新鮮な野菜を季節ごとに豊富にたべられるのは、農村でなければ味わえない、特典と云えるでしょう。

近頃のように食品公害がきけば、物価高の続くなかで自給野菜を上手に栽培し利用することは、健康だけでなく家庭経済の面でも大きなプラスになります。

家族の健康を守り、たのしく豊かな食生活にするために家庭菜園を計画的に上手に作付けし利用しましょう。

一、何をつくるか

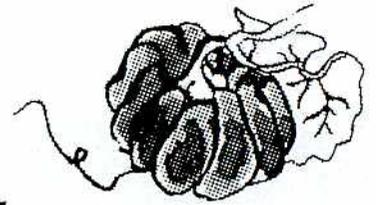
野菜は種類によって収穫できる季節が限られますが、品種の早生、晩生の組み合わせ、ビニールハウスやトンネルの利用によって栽培期間を長くすることです。

表一は、家庭菜園で栽培でき、よく食卓にのぼる作物を

生活講座 62

自家用野菜を豊富にむだなく作るために

北根室地区農業改良普及所

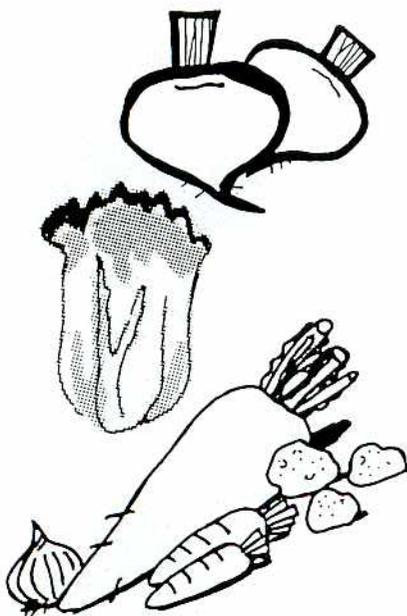


植物学的に似た仲間、すなわち、科にわけてあります。同じ科のものをまとめて書いたのは、連作をきらい作物は同じ科の他の作物との連作もさけた方がよいからです。

二、どれだけつくるか
自家用は商品ではありませ

キ	ゴ	ボ	ウ
	レ	タ	ス
	シ	ユ	ン
ク	シ	ユ	ン
	食	用	ギ
科	フ		キ
	ダ	イ	ズ
マ	イ	ン	ゲ
	メ	サ	サ
	メ	サ	ゲ
科	エ	ン	ド
	エ	ン	ド
セ	ニ	ン	ジ
	セ	ロ	リ
	ミ	ツ	バ
科	バ	セ	リ
	ク	レ	ソ
アカザ科	ホ	ウ	レ
	フ	ダ	ン
	オ	カ	ヒ
その他	オ	ク	ラ
	シ		ソ
	ス	イ	ー
他	イ	チ	ゴ
	ウ		ド

ア	ダ	イ	コ	ン	葉
	ダ	イ	コ	ン	根
	カ				ア
ブ	ハツカダイコン(ラディシュ)				
	キ	ャ	ベ	ツ	
ラ	ハ	ク	サ	イ	
	カ	リ	フ	ラ	ワ
ナ	プロッコリー				
	メキャベツ(コモチカンラン)				
科	菜類(タイナ、コマツナ等)				
	ワ	サ	ビ	ダ	イ
ナ	ト		マ		ト
	ナ				ス
	ピ	ー	マ		ン
ス	ト	ウ	ガ	ラ	シ
	シ		シ		ト
	ジ	ャ	ガ	イ	モ
ウ	キ	ユ	ウ		リ
	メ		ロ		ン
	ス		イ		カ
科	カ	ボ	チ		ャ
	シ	ロ	ウ		リ
	タ	マ	ネ		ギ
ユ	長		ネ		ギ
	ニ		ン		ニ
	ユ			リ	
科	ア	ス	バ	ラ	ガ



ん。少しくらい曲ったキュウリでも、小さなジャガイモ、ネットがきれいにでていないメロンでも食べることができま

す。

例えば、ホウレン草は少し小さい時の間引き葉もおつゆの実くらいには使えます。一坪を半分にかけて一回植え、

それが大きくなって穫れはじめるころ次の半坪に種子をまくというように順次まくと、五月初めから十一月頃まで、わずかの面積で食べることが出来ます。ただし時期によって品種をかえなければなりません。

また作物は連作をさけた方が良いですから他の作物と上手に組み合せて次々と空いた土地にまくことです。
三、種子は残しても翌年使えます。
三〇種もの作物、そして一つの種で三つも四つもの品種

を作るとすれば種子代だけでも大変です。
小さな袋詰めになっている種子は、自家用の菜園に一度に播いたのでは多すぎます。必要だけ使って、あとは購入年を書き、缶または瓶にシルカゲルなどの乾燥剤を入

れて、冷蔵庫や温度変化の少ない冷暗所で保存します。植物によって種子の寿命は違いほど短く、白菜、ナス、キュウリは三、四年はもちます。

知っておきたい 税 の知識

根室税務署

貯蓄と税

昭和62年度の税制改正により、利子課税の見直しが行われ、マル優制度などが昭和63年4月1日から変わりました。

● 利子を受け取ったとき

● 利子の非課税制度

- 一、老人等に対する利子の非課税
 - 非課税制度を利用できる人
 - イ 年齢が65歳以上の人
 - ロ 遺族基礎年金を受けることができる妻
 - ハ 寡婦年金を受けることができる妻
 - ニ 身体障害者手帳の交付を受けている人
- 二、勤労者財産形成住宅貯蓄及び勤労者財産形成年金貯蓄
 - 蓄の利子の非課税
 - サラリーマンが給料から天引により貯蓄する勤労者財産形成住宅貯蓄や勤労者財産形成年金貯蓄の利子については、合わせて一人元本五〇〇万円までを非課税扱いとする制度

があります。これは、一般に「財形住宅貯蓄」と「財形年金貯蓄」といわれるもので、サラリーマンの住宅取得や老後の生活の安定を目的としている制度です。

● 源泉分離課税
非課税制度の適用を受けない利子については、原則として昭和63年4月1日以降支払われるものから、20%（この内の5%は、地方税）源泉徴収だけで課税関係が終了する「源泉分離課税」が適用されます。したがって、従来の総合課税、35%の源泉分離選択課税、確定申告不要の制度は廃止されます。

老人等に対する非課税制度

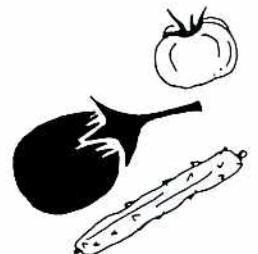
非課税制度の種類	非課税の限度額	非課税制度の対象となる貯蓄
①老人等の少額預金の利子所得等の非課税制度	300万円	銀行などの預貯金、貸付信託、公社債、公社債投資信託など
②老人等の少額公債の利子非課税制度	300万円	利付国債、公募地方債など
③老人等の郵便貯金の利子所得の非課税制度	300万円	郵便貯金

貯 金



中 標 津 町 農 協

マル優制度などが昭和63年4月1日から変わりました。詳しくは、もよりの税務署・税務相談室へお気軽にお尋ねください。



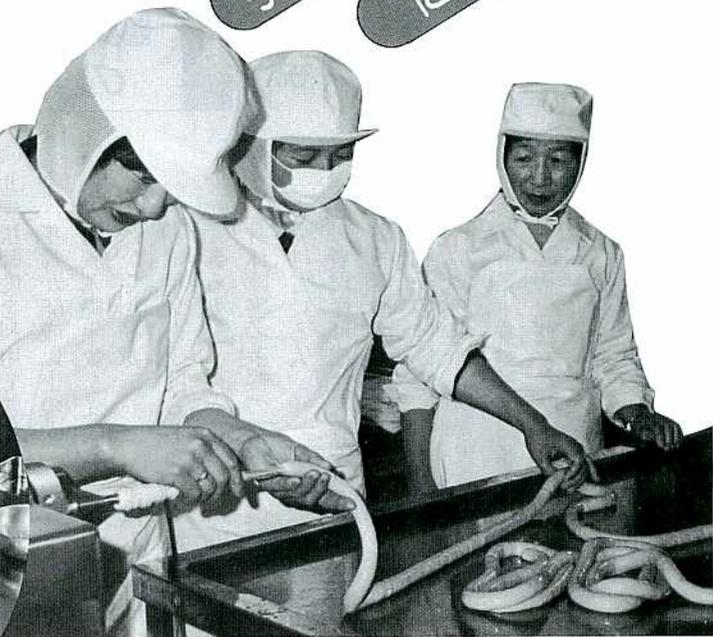


味

手づくりソーセージ
に挑戦



うまくいってる?



チョットこつがあるのネ...

三月二十四日、中標津町畜産食品加工センターにて手づくりソーセージ作りが行われました。

農協婦人部員を対象に希望者を募集したところ、多数の希望者がありました。当日はあいにくの悪天候で、手づくりソーセージ作りに挑戦したのは残念ながら六名でした。

今回調理した肉の量は8kg。作業は、肉(豚モモ)から余分な脂肪、すじを取り除くことから始められました。

脂肪、すじを取り除いた肉をチョッパーにかけひき肉にし、次にカッターにかけ、脂肪(肉の二〇%)、水(十五%)、さらに食塩、発色剤、結着剤、スパイス、でんぷんを入れるとドロドロの状態になり、腸詰の機械で羊の腸に肉を詰め、上手にねじったものをくん製にか

け、冷却させると出来上がり、といった順序で作業は進められました。

休憩時間には、センターで製造されたアイスクリームをいただき、味の良さに参加者は感激。

午前十時三〇分から午後三時までの時間はあ

という間で、各自、自分達で作ったソーセージを持ち帰り満足気でした。

味の方はといいますと、これがなかなかのもので、持ち帰ったソーセージの売れゆきはさぞ良かったことと思います。



苦労して出来上がったソーセージをかかえて思わずニッコリ

理事会の経過

第十六回理事会

開催月日 三月二十八日
開催場所 農協中会議室

〈議案〉

- 一、昭和六十二年、収支決算の見込みと、職員の期末手当の支給について。
 - 二、昭和六十二年、剰余金（見込み額）の処分方法について。
 - 三、昭和六十三年、事業計画の滑り、及び収支計画並びに役員報酬審議会の答申について。
 - 四、貸付金利率の改定について。
 - 五、農業協同組合法、第九十四条第三項の規定に基づく道の検査の結果改善を要する事項の回答について。
 - 六、就業規則、及び臨時職員就業規則並びに人事規程の一部変更について。
 - 七、教育ローンの取扱いに伴う貸出業務規程の変更について。
 - 八、昭和六十二年、クミカシン精算に伴う借入額の変更について。
 - 九、固定資産の取得について。
 - (1) バルククーラー
 - (2) スラリローラー
 - (3) 澱粉工場の改造
 - (4) 土壌消毒機
 - 十、農協有バルククーラーのリース料の設定について。
 - 十一、昭和六十二年、経営移譲に係る債務保証について。
 - 十二、正組合員の加入、脱退、及び出資金の譲渡等について。
- 以上の議案が審議され、決定しました。
- 〈協議事項〉
- 一、地区別懇談会の経過について。
 - 二、北進台農産加工組合（代表、滝本広）からの要請について。
 - 三、昭和六十三年、澱粉工場運営について。

四、肉牛生産センター発酵飼料の使用と堆肥の値下げについて。

五、昭和六十二年、クミカシン精算保留者に係る協議について。

四、肉牛生産センター発酵飼料の使用と堆肥の値下げについて。

五、昭和六十二年、クミカシン精算保留者に係る協議について。

〈報告事項〉

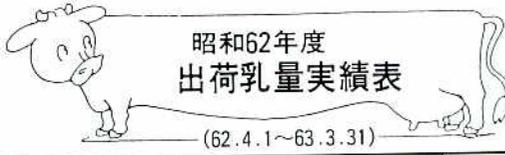
- 一、昭和六十三年の乳価決定について。
- 二、ミルカー点検整備の実施について。
- 三、昭和六十二年農業所得

税申告状況について。

四、昭和六十三年、職員の新規採用と退職発令について。

第16回理事会に於いて、次の通り貸付金利率の改正が行なわれました。実施は昭和63年4月1日からです。

種別	現行利率	改正利率	備考
組 勘 貸 越	7.5 <small>年利%</small>	6.9 <small>年利%</small>	
〃 (営農貯金見返)	貯金利率と同率		現行どおり
総 合 口 座 貸 越	担保となる貯金利率の0.25高		現行どおり
(証書)貸付金一般	7.5	6.9	
〃 農地取得つなぎ	6.5	6.0	
割 賦 貸 付 金	7.5	6.9	
一 般			
農 機 具 等 購 入	6.1	6.0	
農 地 購 入	6.5	6.0	
後 継 者 農 業 振 興	6.5	6.5	現行どおり、利子補給
後 継 者 結 婚	3.5	3.5	現行どおり
乳 肉 複 合 経 営	6.0	6.0	現行どおり
手 形 貸 付 金			
定 期 見 返 り	担保となる貯金利率の0.5高		現行どおり
定 期 積 金 見 返 り	〃		現行どおり
福 祉 定 期 見 返 り	〃		現行どおり
共 済 見 返 り	7.5	6.5	
入庫品担保(澱粉仮渡)	6.5	6.5	



月	年度	出 荷 乳 量		前年比 (%)
		61 年	62 年	
4 月		5,090,083.3	5,028,668.9	98.8
5 月		5,658,333.0	5,682,462.1	100.4
6 月		6,104,848.7	6,128,775.9	100.4
7 月		6,176,869.5	6,085,221.1	98.5
8 月		6,096,705.9	6,048,715.7	99.2
9 月		5,692,194.7	5,739,070.2	100.8
10 月		5,517,240.1	5,666,153.4	102.7
11 月		4,785,811.7	4,962,129.6	103.5
12 月		4,822,590.7	4,910,363.6	101.8
1 月		4,697,356.9	4,736,115.1	100.8
2 月		4,096,962.9	4,487,284.5	109.5
3 月	上旬	1,421,860.2	1,564,643.8	110.0
	中旬	1,401,659.8	1,589,022.8	113.4
	下旬	1,430,742.8	1,848,639.1	129.2
月 計		4,254,262.3	5,002,305.7	117.6
総合計		62,993,259.7	64,477,265.5	102.4

年度	戸数	税 額 (千円)	免税額 (千円)	実納額 (内農業分) (千円)
六二 一九七	三三三、一〇六	二〇、四二二 (一八、〇四八)	一一、六八四	三三三、三八〇 (三〇、〇五〇)
六一 二二九	三三三、三八〇	〇	〇	三三三、三八〇 (三〇、〇五〇)

昭和六十二年度の農業所得 税確定申告が、税対委員の皆さんのご協力を頂き、終了いたしましたので報告いたします。

昭和六十三年 農業所得税の確定申告終る

昭和63年度 根室生産家畜市場価格

(3/2.3/9.3/10.3/16.3/23)

種 別	区 分	上場数	成立数	売 買 金 額	平 均	最 高	最 低
乳	育 成 (12ヶ月以下)	44	40	10,768	269	800	100
	育 成 (12ヶ月以上)	40	37	12,838	347	550	181
	初 妊 牛	166	153	90,263	590	920	359
	経 産 牛	114	108	46,871	434	660	221
牛	小 計	364	338	160,740	476	920	100
肉	初 生 ト ク	77	72	8,286	115	267	24
	牡 ト ク	64	57	8,739	153	281	30
	去 勢 (12ヶ月以下)	65	59	12,971	220	270	101
	去 勢 肥 育 (12ヶ月以上)	0	0	0	0	0	0
	育 成 牛	157	118	31,807	270	405	31
	末経産肥育牛	3	2	515	258	345	170
	成 牛	414	338	84,722	251	440	130
	小 計	780	646	147,040	228	405	24
そ の 他 (馬・羊他)	4	2	93	47	51	42	
生産連市場計		1,148	986	307,873	312	920	24

「売り易く買い易い」をモットーに、毎回多数の家畜が出場しています。

- ◎場 所 中標津町南中
- ◎定期市場 毎週水曜日
- ◎セリ開始 午前十時

63年2月乳成分・乳代単価ベスト10

順位	脂肪率	%	無脂固形分率	%	乳代単価	円	体細胞	千
1位	吉田正行	4.34	久我敏也	9.03	吉田正行	85.32	筒井富男	46
2位	小谷盛一	4.33	佐藤一広	9.00	下川原政市	84.53	筒井良秋	50
3位	佐藤敏昭	4.20	下川原政市	8.98	佐藤敏昭	84.20	釘持広昭	56
4位	斉須清志	4.18	白田慶和	8.91	小谷盛一	83.94	飯島精市	59
5位	大木敏夫	4.18	桜井幸一	8.90	松村晴由	83.71	小林金司	60
6位	奥田寿美子	4.16	上村力	8.89	佐藤和男	83.50	米栖寛	61
7位	下川原政市	4.16	前原秀隆	8.89	桜井幸一	83.46	斉藤一美	81
8位	大野富夫	4.15	佐々木昭雄	8.87	松本幸男	83.30	桜井幸一	92
9位	松村晴由	4.15	花川稔	8.86	下山幸一	83.16	下川原政市	97
10位	下山幸一	4.13	笠井剛	8.86	大木敏夫	83.14	佐々木繁雄	98
	工藤隆弘	4.13						
	佐藤和男	4.13						
	弾正原正	4.13						
平均		3.79		8.60		79.40		338
最低		3.23		8.06		71.96		1,261

4%以上33件

昭和62年度 地区別合乳細菌数・細胞数検査成績 (62年4月～63年2月)

()は%

区分 地区	細菌数						細胞数			
	30万以下	31~50	51~100	101~200	201~400	400万以上	30万以下	31~50	51~100	110万以上
当幌	815 (96.4)	13 (1.5)	15 (1.8)	2 (0.2)			629 (74.4)	132 (15.6)	80 (9.5)	4 (0.5)
俣落	1,391 (95.8)	22 (1.5)	29 (2.0)	5 (0.3)	3 (0.2)	2 (0.1)	983 (67.7)	327 (22.5)	140 (9.6)	2 (0.1)
中標津	1,388 (94.6)	35 (2.4)	29 (2.0)	10 (0.7)	4 (0.3)	1 (0.1)	1,030 (70.2)	256 (17.5)	165 (11.2)	16 (1.1)
開陽	1,058 (97.2)	17 (1.6)	10 (0.9)	3 (0.3)	1 (0.1)		726 (66.7)	234 (21.5)	119 (10.9)	10 (0.9)
俵橋	1,407 (95.0)	35 (2.3)	26 (1.8)	9 (0.6)	2 (0.1)	2 (0.1)	1,049 (70.8)	273 (18.4)	147 (9.9)	12 (0.8)
武佐	1,547 (95.8)	24 (1.5)	27 (1.7)	12 (0.7)	4 (0.2)	1 (0.1)	1,069 (66.2)	363 (22.5)	167 (10.3)	16 (1.0)
第2俣落	1,475 (95.1)	36 (2.3)	24 (1.5)	12 (0.8)	2 (0.1)	2 (0.1)	1,036 (66.8)	337 (21.7)	168 (10.8)	10 (0.6)
合計	9,081 (95.6)	182 (1.9)	160 (1.7)	53 (0.6)	16 (0.2)	8 (0.1)	6,522 (68.7)	1,922 (20.2)	986 (10.4)	70 (0.7)

郵便局のカルチャー教室



中標津郵便局（岡本 清局長）では、三月二十四日、町保健センターで普及所の榎田生改を講師に、カルチャー教室「乳製品料理講習会」を開きました。

少しずつ入れて下さいー榎田講師の指導で…

乳製品を使った料理に主婦ら挑戦!



こんな感じでいいですか？



テキストを見ながら皆真剣!!

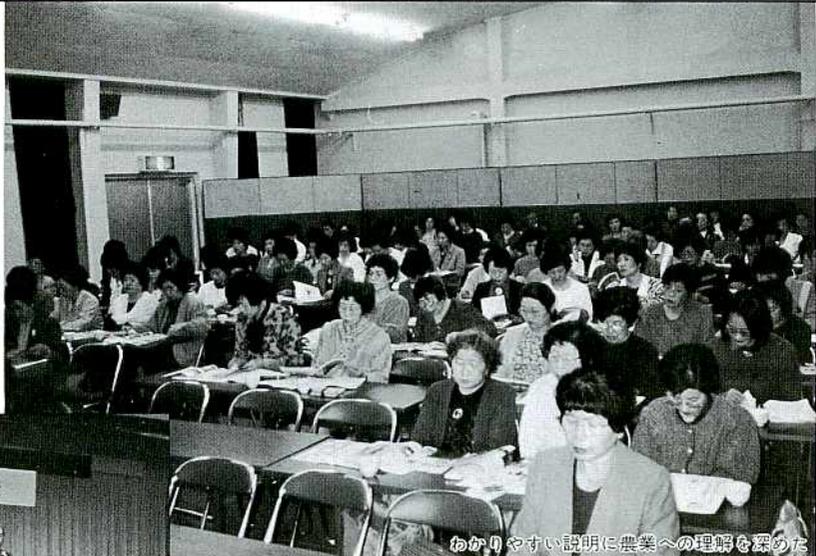
参加した町内の主婦ら二十名が講師の指導で牛乳を使った、ゆで卵のクロケット、ミートボールのクリーム煮、パエリアの三点に挑戦、自分で作った料理に「ウン、おいしい」と満足気でした。

農協婦人部等でも消費拡大運動として、試食会等を実施

していますが、消費者の理解を得るのはなかなかむずかしいのも事実です。中標津郵便局のこのような取り組みは、注目するところですが、我々の今後の消費拡大運動の一つの方法として、取り入れていくものではないでしょうか。

婦人の親睦・交流

婦人祭開催される――



町内婦人の親睦、交流を目的とした婦人祭が三月十八日中標津町公民館で開催されました。



中央会鈴木次長の講演

講演テーマを「農産物自由化と私たちのくらし」と題し、北農中央会中標津支所鈴木次長よりお話がありました。

農業の位置づけからはじまり、歴史や現在の酪農情勢そして自由化の背景など資料をもとにわかりやすく説明がされ、参加した消費者の方には農業と自分達のくらしとのつながりというものをよく理解していただけたと思います。講演中には牛乳、新製品ゴーターチーズマイルドを、また、中標津町畜産食品加工研修所で製造されたヨーグルト、アイスクリーム、ソーセージの試食コーナーもあり、その味の良さは大好評でした。

わかりやすい説明に農業への理解を深めた



簿記記帳と経営改善

に取り組む 中標津町 経営研究会

牛乳の原価計算、経営診断、分析を行なっている。総会後の研修会では、経営分析の終わった事例に基づき、診断項目の理解と事例に対する意見交換を行なった。

六十一年に発足した中標津町経営研究会（中林忠雄会長、会員四十四名）の六十三年度通常総会が、三月二十五日、農協大会議室で開催された。五十九年から簿記記帳者が現われ、現在は地域も全域に広がっている。五十九年、六十年は、俵橋、当幌、第二俵落が、それぞれの地域グループとして活動、さらに六十一年に俵落もグループ化されたことにより、簿記記帳者の情報交換、経営改善を行なう場として、その年の三月に発足したものの。

日常の活動は、簿記記帳と決算仕訳、さらには、良質粗飼料の生産確保、乳牛飼料給与の改善や、生産性の向上など経営改善に取り組んでいる。一年間の簿記決算が終わるとサイレージ、乾草の原価計算を行ない、



ウーめんめそが問題なナー

3月の 組合日誌

- 1日 管理購買委員会
- 3日 第15回理事会
- 4日 営農懇談会
- 5日 婦人部・理事者との懇談会
- 7~14日 地区別懇談会
- 10日 肉牛研修会
馬鈴薯栽培講習会
- 17日 役員報酬審議会
- 22日 生産委員会
- 25日 管理購買委員会
- 26日 営農委員会
- 28日 第16回理事会
- 30~31日 棚卸監査

第41回
中標津町農業協同組合通常総会

とき 昭和63年5月2日
午前10時
ところ 寿 宴

よろしくおねがいます

新規採用者4月1日付



高橋 ゆかり
購買部生活店舗課
店舗係



安住 李子
管理部企画管理課
管理経理係



近藤 智恵子
購買部営農資材課
生産資材係

人事異動 (4月1日)

購買部営農資材課給
油所係主任
小松 一 男

付、
退職者三月三十一日
北川 美枝子
成田 朋子

長い間、
お世話になりま
した



● 転入者
主任 阿部 勝夫

十勝北部地区普及
所(上士幌町)よ
りまいりました。
よろしくお願い
します。

● 転出者

秀 和利
道立農業大学校
(十勝管内本別町)
教務課長としてま
いります。
お世話になりました。

普及所 から

編集後記

永かった冬も、やっと終わりを告げようとしています。緑いっぱい草花の香りを感ずるのももうすぐです。三月末頃からサクラ前線の北上が聞かれますが、満開は八〇%が開いた時に言うそうです。風が吹いたり、雨が降ったりして散ってしまうと、なかなか予報も大変だと思えます。

四月は、ウキウキ気分、野山の動物達も元気に春を迎えた事でしょう。残雪の下に確かに息づく草花も、若葉を出すのを待っているはず、我々も何かしたくて体がウズウズしてきます。

五月二日は、なかしべつ町農協の第四十一回の通常総会です。あーそうかいとジョウダンはさておき、毎年欠席される方も意外に多いのは事実です。無関心という事ではないのでしょうか、もう一度振り返って下さい。「農協の事業に注目し、積極的にアイデアや意見を出し合い参画する事は、自分達の生活を守る事なんだ。」と考えて頂きたいと思えます。